

■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]	■ 単位数
	森林レクリエーション論[Forest Recreation]	1
■ 担当教員(責任)[ローマ字表記]		
大浦由美 [OURA Yumi]		
■ 担当教員[ローマ字表記]		
大浦由美 [OURA Yumi], ジョン・ギヤスライト[John Gathright]		

■ 授業題目(必須入力)

森林レクリエーション論[Forest Recreation]

■ 授業のキーワード(必須入力)

森林レクリエーション[Forest Recreation], 観光[Tourism], 地域振興[Regional Development], 森林サービス産業[Forest Service Industries], 地域資源管理[Local Resources Management]

■ 授業の目的(必須入力)

現代社会における森林のレクリエーション的利用(以下、レク利用)の意義に関する理解を深め、森林資源を現代の生活や地域振興、地域資源管理等、多面的に活かす方策としてのレク利用のあり方を考えるための基礎的な知識を習得することを目的とする。

■ 授業の到達目標(必須入力)

1. 森林のレク利用の展開を社会的背景の変遷とともに理解する。
 2. 近年における森林の観光レク利用から森林サービス産業への発展とその意義、および課題を理解する。
 3. 森林資源を多面的に活かす方策としてのレク利用のあり方について考えるための基礎知識を修得する。
※実際にアトニ・ギヤスライト博士から森林のレク利用に関する利用者側からの知見を得る。

■ 授業概要(必須入力)

森林を中心とする自然地域におけるレク活動は、世界中で親しまれている余暇活動のひとつである。日本における森林のレク利用は、古くは物見遊山や信仰に基づく旅行に始まり、特に戦後の経済発展のなかで急速な発展を遂げた。それは国民に対するレクリエーションの場の供給という側面だけでなく、農山村の地域振興策として、また、資本の新たな投資対象としても位置づけられてきた。近年では、国民の新たな価値観やライフスタイルの台頭に合わせて、医療・福祉分野や教育、観光・交流など、さらに幅広い分野から森林空間の総合的かつ多面的な活用が望まれている。この授業ではこのような森林のレク利用の歴史的発展とその社会的背景を概観し、その意義や課題について理解できるようにする。また、レポート作成を通じて森林資源を多面的に活かす方策としてのレク利用のあり方に関する理解を深める。

■ 授業スケジュール(必須入力)

【1日目】
 1. 森林レクリエーションの発展とその背景
 2. 自然地域の観光レク利用をめぐる課題
 3. 森林レクの多様な展開: 森林サービス産業へ
 4. 森林レクの現代的意義
 【2日目】
 5. レクリエーションツリークライミングの歴史と技術
 6. アーボリカルチャーにおけるツリークライミング
 7. 障害のある方のツリークライミングの展開
 8. レクリエーションツリークライミング体験

■ 授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

授業時間中の講義内容を反復したり、講義中に紹介する参考文献等に目を通して理解を深めること。

■ 成績評価方法(必須入力)

・課題レポート(100点)

■ 受講条件(任意入力)

	▲
--	---

🗨️ 受講のルール(任意入力)

	▲
--	---

🗨️ 教科書 (購入する必要のある図書) (必須入力)

教科書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	
教科書2	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

🗨️ 参考書 (購入する必要はないが, 推奨する図書) (必須入力)

参考書1	書名	森林アメニティ学			ISBN	978-4-254-47052-9
	著者名	上原 巖, 清水裕子, 住友和弘, 高山範理	出版社	朝倉書店	出版年	2017
参考書2	書名	地域資源を守っていかすエコツアーリズム-人と自然の共生システム-			ISBN	978-4-06-155230-2
	著者名	敷田麻実, 森重昌之	出版社	講談社	出版年	2011

🗨️ 教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

講義資料は授業中に配付する。

	▲
--	---

🗨️ オフィスアワー(必須入力)

-

	▲
--	---

🗨️ 連絡先(必須入力)

	▲
--	---

🗨️ 参照ホームページ(任意入力)

	▲
--	---

🗨️ その他(任意入力)

	▲
--	---